

道徳の時間「平成28年度の重点」授業構想シート

道徳の時間	本県の課題	目指す子供の姿
	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深め、自分のよさや課題に気付く学習が十分にできていない。 ◆学年が上がるにつれて、自分自身のものの見方、考え方、感じ方を素直に表現できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの自分に夢や希望をもち、伸ばしたい自己像や自己目標を意識して、社会的自立に向けてよりよく生きようとしている。 ○自らの思いを素直に表現し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感することができる。
	➔	
	<p>①豊かな学びで「生き方」を考える授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学習指導過程、指導構想、指導方法等を工夫することにより、子供の中に育てたい「芽」や「根」を、内面から揺り動かすことができるようにする。 <p>②表現し考えを深める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の考えを基に書いたり話し合ったりするなどの表現する活動を充実させ、児童生徒が自分自身への問い掛けを深め、心の成長を実感できるようにする。 ◇とことん話し合いを深める授業、豊かな体験活動と関連をもたせた授業、心に響く魅力的な資料を使った授業などにより、子供と教師がともに考え、悩み、感動を共有していく道徳の時間とする。 	

月	日 ()	学校	年	組	授業者	
主題名						

1 「生き方」について考えさせる。

①資料の登場人物のよさ（弱さ）や生き方が最もよく描かれているのは、どの場面か。

②とらえさせたい道徳的価値や考えさせたい生き方について、期待する子供の発言はどのようなものか。

2 表現し考えを深める場を設定する。

①児童生徒が、資料の登場人物の行動や考え方について、共感したり、共に悩んだり、反発したりする学習場面や発問を準備する。

学習場面または発問

②児童生徒一人一人が、自分の思いや考えを表現したり、交流したりする学習活動を設定する。

学習活動

道徳の時間「平成28年度の重点」授業改善シート

道徳の時間

本県の課題

- ◆自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深め、自分のよさや課題に気付く学習が十分にできていない。
- ◆学年が上がるにつれて、自分自身のものの見方、考え方、感じ方を素直に表現できない。

目指す子供の姿

- これからの自分に夢や希望をもち、伸ばしたい自己像や自己目標を意識して、社会的自立に向けてよりよく生きようとしている。
- 自らの思いを素直に表現し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感することができる。

①豊かな学びで「生き方」を考える授業づくり

◇学習指導過程、指導構想、指導方法等を工夫することにより、子供の中に育てたい「芽」や「根」を、内面から揺り動かすことができるようにする。

②表現し考えを深める授業づくり

◇自分の考えを基に書いたり話し合ったりするなどの表現する活動を充実させ、児童生徒が自分自身への問い掛けを深め、心の成長を実感できるようにする。
◇とことん話し合いを深める授業、豊かな体験活動と関連をもたせた授業、心に響く魅力的な資料を使った授業などにより、子供と教師がともに考え、悩み、感動を共有していく道徳の時間とする。

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
主題名				記入者

1 豊かな学びで「生き方」を考える授業づくり

① 資料に表現された生き方（気高さ・弱さ）をとらえさせるための中心場面を適切に把握している。	4 - 3 - 2 - 1
② ねらいとする道徳的価値について、児童生徒に期待する気付き、発言を明確にしている。	4 - 3 - 2 - 1
③ 資料を通して深めた道徳的価値の理解をもとにして、児童生徒が自己の生き方、人間としての生き方について考えを深めることができるよう、振り返りの時間を確保している。	4 - 3 - 2 - 1

2 表現し考えを深める授業づくり

① 資料について、人物への共感や人物に対する判断を引き出すため、発問や学習活動の工夫、自分の考えを書く場の設定などを行っている。	4 - 3 - 2 - 1
② これまでの自分の体験、自分の生き方についての振り返りを促すための助言、支援を準備している。	4 - 3 - 2 - 1

[メモ]